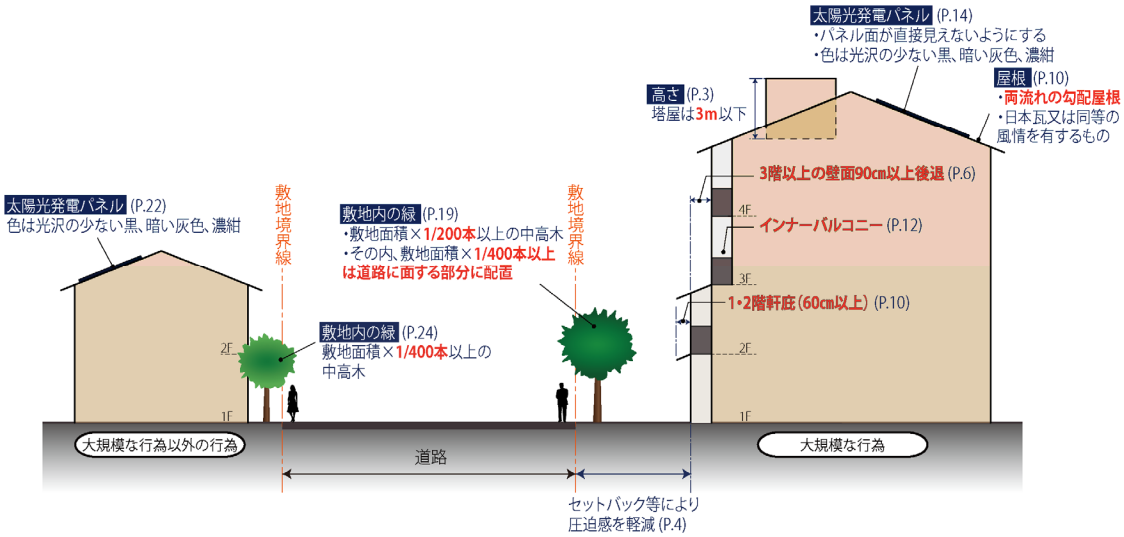
1.3 景観形成方針のイメージ（建築物）

※こちらのイメージ図は各景観区域・景観軸ごとの代表的な景観形成基準を模式的に表したものです。基準の詳細は P.3～P.31 の解説を参照してください。

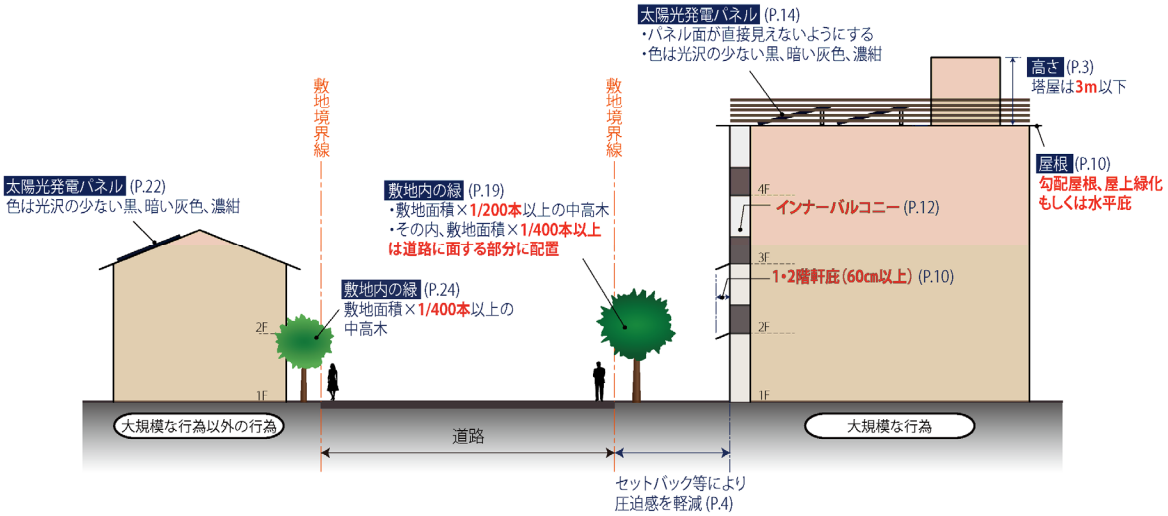
西山･山麓景観区域

現況	市域面積の約 4 割を占める西山と、その山麓に広がる竹林、八条ヶ池周辺や小泉川などが緑豊かな自然景観を形成している地区
景観形成方針	西山の緑に溶け込むような景観をつくる



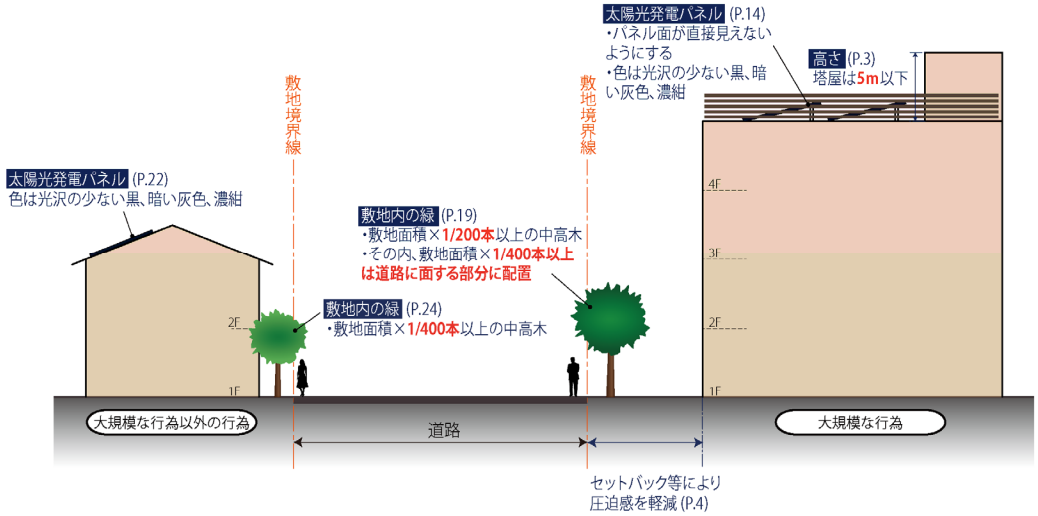
市街地景観区域

現況	JR 東海道本線と阪急電鉄京都線の 3 つの駅を有しており、市民の暮らしと関わりの深い、長岡京市で最も賑やかで活気のある地区
景観形成方針	住宅地・まちの拠点・農地が調和した緑豊かないきいきとした景観をつくる



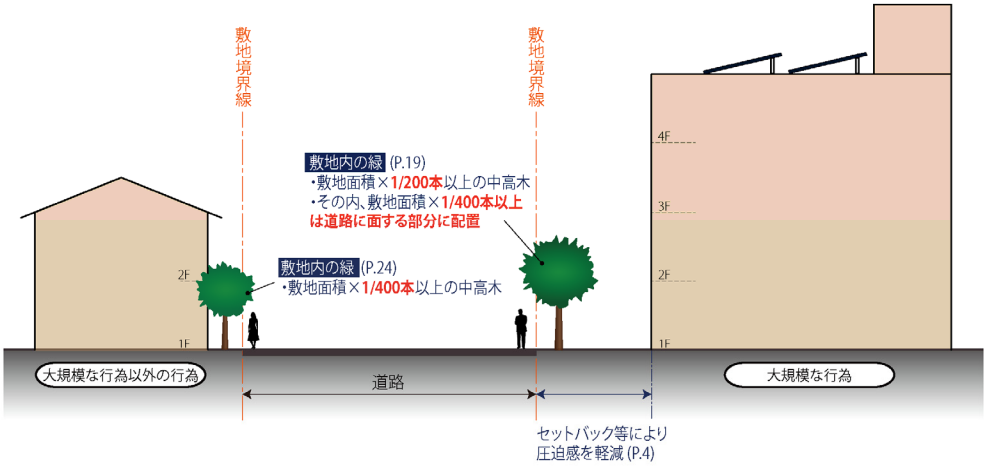
住工景観区域

現況	小畑川と国道 171 号に挟まれた工場を中心とした地区
景観形成方針	住宅地と工業地の調和がとれた景観をつくる



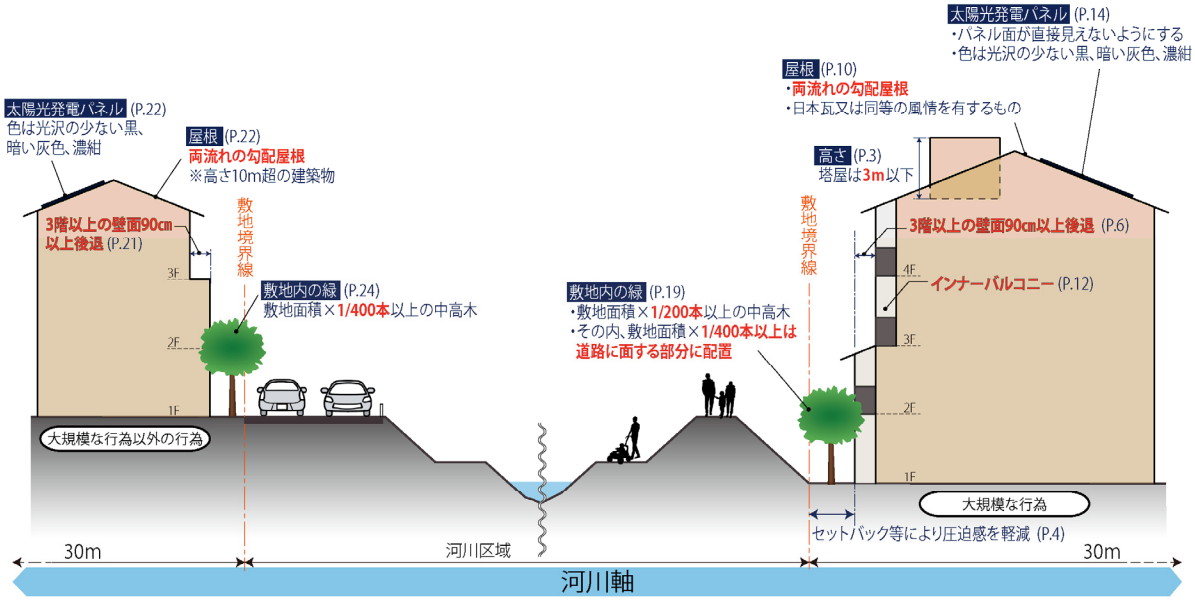
工業景観区域

現況	国道 171 号の東側に位置し、長岡京市の産業を支える地区としてまとまった工場の立地がみられる地区
景観形成方針	ゆとりとうるおいのある景観をつくる



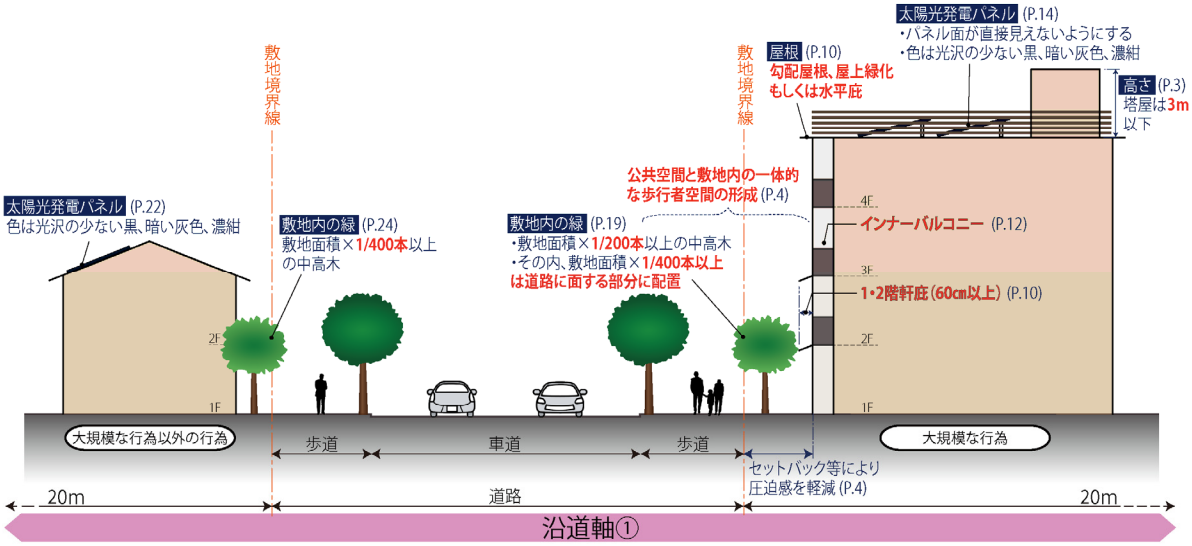
河川軸

現況	西山の視点場として重要であるとともに、豊かな自然環境や水辺のせせらぎを身近に感じることができる重要な軸
景観形成方針	水と緑を活かした景観をつくる



沿道軸①

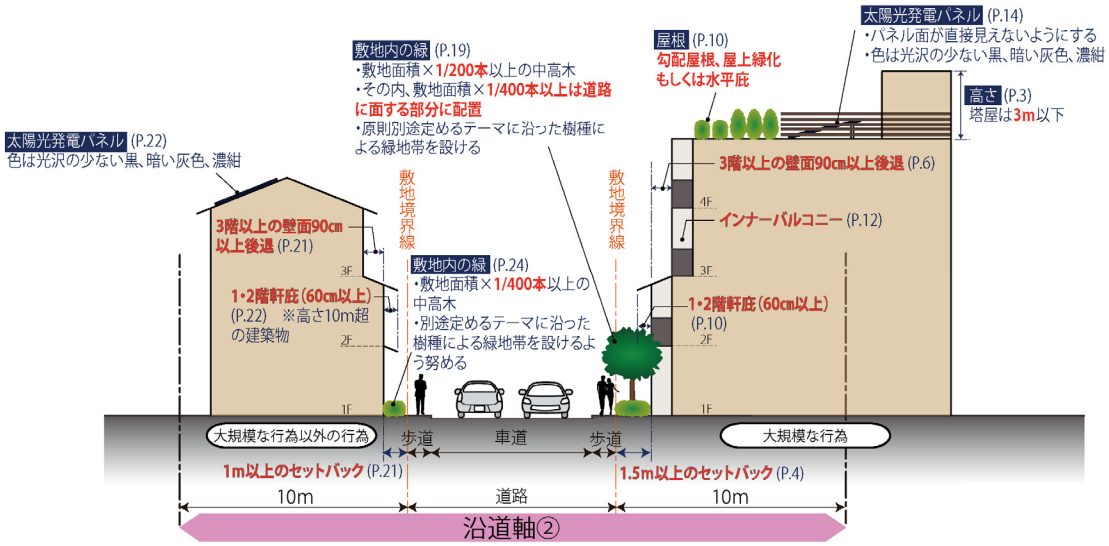
現況	天神通り：沿道はマンションや商業施設が立地するなど、良好な都市景観の形成を推進中の軸 文化センター通り：住宅や商業のほか、図書館や文化会館等の公共施設が立地するなど、都市的な景観が形成されている軸
景観形成方針	西山との緑の連続性を活かした景観をつくる



※「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」より抜粋

沿道軸②

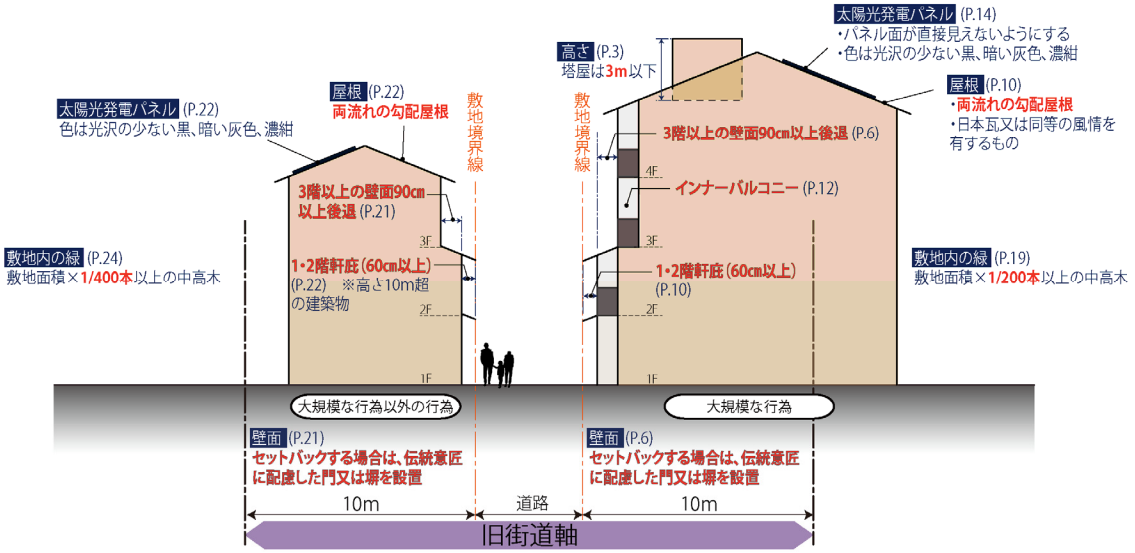
現況	アゼリア通り：市民の暮らしと関わりが深く、市民や観光客の憩い・交流の場としての役割の発揮が求められている軸
景観形成方針	西山との緑の連続性を活かした景観をつくる

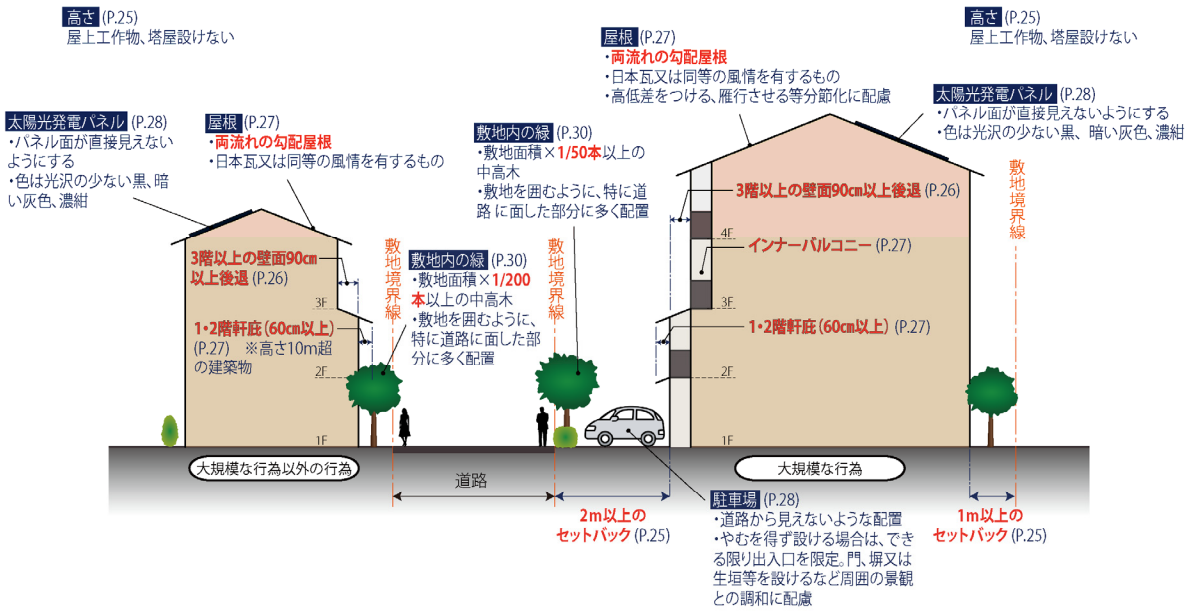


※「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」より抜粋

旧街道軸

現況	古い家屋や石畳の道など歴史的な雰囲気を持ったまちなみとして、また観光資源としても重要な軸
景観形成方針	歴史的街道の伝統を活かしたまちなみをつくる



景観重点地区

現況	長岡京市を代表する歴史的資源である長岡天満宮を中心とした地区
景観形成方針	長岡天満宮・八条ヶ池の歴史的景観をまもる